

国士舘大学指定校推薦選抜要項

目 次

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）	1
選抜制度・区分及び「学力の3要素」の評価方法	5
個人情報の取扱いについて	5
指定校推薦選抜要項	6
「マイページ登録」から「入学手続」までのご案内	8
（ マイページ登録方法	9
インターネット出願方法	13
入学検定料	14
受験票について	14
受験注意事項	15
合否確認方法	16
入学手続	16
奨学制度	19
教育ローン	21
入学者選抜Q & A	22
本学試験会場案内図	23

受験生のみなさまへ

- 本要項に記載している選抜方法等に変更が生じた場合は、本学ホームページにて公表します。
- 本要項は、出願から入学手続完了までのすべての事項を記載しています。
よく読み理解納得の上、出願してください。必要に応じて、保護者の方にも目を通してもらってください。

令和9年4月、文学部文学科日本文学・文化コースから文学部日本文学文化学科に名称変更予定です。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国 士 館 大 学

国士舘大学は、建学の精神及び教育理念・教育指針に基づいた人材養成を行うにあたって、以下のような素養と能力等を備えた学生を受け入れます。また、このような入学者を適正に判定するために、多様な方法による入学者選抜を実施します。

国士舘大学が求める学生像

1. 国士舘精神への共感

国士舘大学が掲げる建学の精神、教育理念・教育指針、教育研究上の目的に共感し、世のため、人のために尽くせる人材「国士」になろうとする意欲がある者。

2. 学問への意欲

志望する学問分野に関心を有し、幅広い教養と高い専門性を身に付けることを目標に、努力を惜しまずやり通す意欲がある者。

3. 多様性と主体性への姿勢

人間としての感性を高く持って多様な価値観を理解し、主体的に行動して公共に尽くそうとする姿勢がある者。

4. 国士舘教育への理解

日本文化の伝統技術とその基盤にある礼儀・作法、身を守り社会の要請に応える防災力、困難な時代を生き抜く持続的な就業力を身に付けようとする意欲がある者。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. [知識・理解・技能]

(AP1-1) 高等学校卒業相当の知識を習得し、大学での学修に必要な基礎学力を有しているか。

(AP1-2) スポーツ活動において優秀な成績を収め、入学後もスポーツ活動を継続する意志と、学部が定める卒業条件を達成する意志を有しているか。

AP2. [思考力・判断力・表現力]

社会の様々な問題について、知識や情報をもとに論理的に考え、その結果を他者にわかりやすく説明できるか。

AP3. [主体性・多様性・協働性]

グループ学習や課外活動、ボランティア活動などを通じて、多様な人々と協力して課題や目標に取り組む姿勢を有しているか。

政 経 学 部

政経学部は、激動する現代社会において、人間性に富み、政治、経済分野の学際的知識を活用できる力を備え、トップマネジメントおよびミドルマネジメントの中心的役割を担う人材になりたいとの強い意欲を持つ学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、政治行政学科・経済学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

【政治行政学科】

政治行政学科は、激動する現代社会において、人間性に富み、特に政治行政分野の学際的知識を活用できる力を備え、トップマネジメントおよびミドルマネジメントの中心的役割を担う人材になりたいとの強い意欲を持つ学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. [知識・理解・技能]

政治行政学科の教育を受けるのに必要な基礎学力としての知識、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 英語、国語、地理歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校などで身に付けるべき標準的な知識を有している。

(AP1-2) スポーツ活動において優秀な成績を収め、入学後、スポーツ活動を継続する意欲と卒業条件を達成する強い意志を有している。

AP2. [思考力・判断力・表現力]

社会、国家、国際社会のあるべき姿や課題について、これまでに学んだ知識や情報をもとに論理的に考え、その結果を他者にわかりやすく説明できる。

AP3. [主体性・多様性・協働性]

主体性と公共の精神をもって多様な人々と協働する態度や、人間性と専門性をともに自ら育む意欲を有している。

(AP3-1) 高等学校等在学期間に、生徒会等委員会、芸術文化、ボランティア、文化・スポーツクラブ等の諸活動を通じて、主体性と協働性を涵養している。

(AP3-2) 幅広い教養と、学際的専門性を身につけることを目標とし、公徳心を持って社会を取り巻く諸問題を解決しようとする意欲を有している。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 基本的な言語（母語・外国語）理解、表現能力および数理的思考能力を有していること。

2. 社会の動きに興味を持ち、日常的にニュースを読み、自らの考えや意見が述べられるようにすること。

3. 文章読解能力および記述能力を有すること。

【経済学科】

経済学科は、激動する現代社会において、人間性に富み、特に経済分野の学際的知識を活用できる力を備え、トップマネジメントおよびミドルマネジメントの中心的役割を担う人材になりたいとの強い意欲を持つ学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. [知識・理解・技能]

経済学科の教育を受けるのに必要な基礎学力としての知識、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 英語、国語、地理歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校などで身に付けるべき標準的な知識を有している。

(AP1-2) スポーツ活動において優秀な成績を収め、入学後、スポーツ活動を継続する意欲と卒業条件を達成する強い意志を有している。

AP2. [思考力・判断力・表現力]

社会、国家、国際社会のあるべき姿や課題について、これまでに学んだ知識や情報をもとに論理的に考え、その結果を他者にわかりやすく説明できる。

AP3. [主体性・多様性・協働性]

主体性と公共の精神をもって多様な人々と協働する態度や、人間性と専門性をともに自ら育む意欲を有している。

(AP3-1) 高等学校等在学期間に、生徒会等委員会、芸術文化、ボランティア、文化・スポーツクラブ等の諸活動を通じて、主体性と協働性を涵養している。

(AP3-2) 幅広い教養と、学際的専門性を身につけることを目標とし、公徳心を持って社会を取り巻く諸問題を解決しようとする意欲を有している。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 基本的な言語（母語・外国語）理解、表現能力および数理的思考能力を有していること。

2. 社会の動きに興味を持ち、日常的にニュースを読み、自らの考えや意見が述べられるようにすること。

3. 文章読解能力および記述能力を有すること。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

体育学部

体育学部では、将来、スポーツや教育、さらには救急医療の分野に進みたいと願う情熱と協調性に富んだ学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、体育学科・武道学科・スポーツ医科学科・こどもスポーツ教育学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。なお、一般選抜では、筆記試験に加え基本的運動技能についての実技試験（一部の学科においては運動能力証明書の審査）を実施します。

【こどもスポーツ教育学科】

こどもスポーツ教育学科では、将来の教員志望者やスポーツを基盤とした総合教育の分野に進みたいと願う情熱と協調性に富んだ学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げるような観点から多様な方法による入学者選抜を実施します。一般選抜では筆記試験に加え、運動能力証明書の審査（前期）、基本的運動技能についての実技試験（後期）があります。

AP1. 【知識・理解・技能】

こどもスポーツ教育学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識と、優れた体育実技能力を有している。

(AP1-1) 国語、数学、地理歴史、公民、理科、英語などについて、高等学校などで身につけるべき標準的な知識を有している。

(AP1-2) 優れた体育実技能力を有している。

(AP1-3) スポーツ活動において優秀な成績を収め、入学後、スポーツ活動を継続する意欲と卒業条件を達成する強い意志を有している。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

体育・スポーツ・初等教育および中等教育において、問題点を分析するとともに、自ら工夫することで知能・技能を向上させる意欲を有している。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

授業や実技において、他者と協調して真摯に取り組み、自ら進んで行動する姿勢を有している。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 国語、数学、地理歴史、公民、理科、英語について、高等学校などで身に付けるべき標準的な知識を有していること。
2. 自ら課題を発見し、論理的に説明できるプレゼンテーション力を補強すること。

理工学部

理工学部では、理工学に強い興味を持ち、高等教育により知識と倫理観を身に付けて社会に貢献しようとする学生を受け入れます。

理工学部は、希望する専門に応じた教育を機械工系・電気電子システム工系・建築系・まちづくり系・人間情報系・基礎理系・情報理工系で行います。学系にまたがる教育を行うために、入学者を学科として適正に判定します。そのために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

【理工学科】

AP1. 【知識・理解・技能】

理工学部の教育を受けるために必要な基礎学力、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 数学、理科、英語、国語などについて、中等教育で身に付けるべき標準的な知識を有している。

(AP1-2) スポーツ活動において優秀な成績を収め、入学後にスポーツ活動を継続する意欲と卒業要件を達成する強い意志を有している。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

積極的に新しい知見を吸収する向上心と、入学後に学修する知識を活かして、社会に貢献する意欲を有している。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

様々な考えを持つ多くの人々と協調的な関係を築くことができる。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 数学については、基本的な概念や原理・法則を理解し、ものごとを論理的に考察し、処理できる能力を有していること。
2. 理科については、様々な科目に興味を持ち、自然現象の規則性、法則性を理解していること。
3. 論理的に理解し、表現できる国語力を持ち、理工学分野での共通言語である英語の素養を身に付けていること。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法 学 部

法学部では、法律学を通じて豊かな人間性を確立し、主体的に個人の徳性の修養に取り組むとともに、法律知識をもって国や社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、法律学科・現代ビジネス法学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

【法律学科】

法律学科では、法律学を通じて豊かな人間性を確立し、主体的に個人の徳性の修養に取り組むとともに、法律知識をもって国や社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. 【知識・理解・技能】

法律学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 国語、外国語、地理歴史、公民、数学など、高等学校などで身に付ける標準的知識を有している。

(AP1-2) スポーツ活動において優秀な成績を収め、入学後、スポーツ活動を継続する意欲と卒業条件を達成する強い意志を有している。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

社会の諸問題を発見・理解するために、積極的に学習に取り組む意欲と、自分が考えたことを、他者に対してわかりやすく表現できる能力を有している。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

法にかかわる諸問題について関心を持ち、自ら進んで調べ、また他者と協力してその解決方法を探ろうという姿勢を有している。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 英語、国語、地理歴史、公民など、現代社会の理解のために高等学校の求める学習を理解しておくこと。
2. 司法書士・行政書士などの法律専門職のほか、公務員、企業の法務などに関心を持つこと。

【現代ビジネス法学科】

現代ビジネス法学科では、現代ビジネス法学を通じて豊かな人間性を確立し、主体的に個人の徳性の修養に取り組むとともに、法律知識をもって国や社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. 【知識・理解・技能】

現代ビジネス法学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 国語、外国語、地理歴史、公民、数学など、高等学校などで身に付ける標準的知識を有している。

(AP1-2) スポーツ活動において優秀な成績を収め、入学後、スポーツ活動を継続する意欲と卒業条件を達成する強い意志を有している。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

社会の諸問題を発見・理解するために、積極的に学習に取り組む意欲と、自分が考えたことを、他者に対してわかりやすく表現できる能力を有している。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

法にかかわる諸問題について関心を持ち、自ら進んで調べ、また他者と協力してその解決方法を探ろうという姿勢を有している。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 英語、国語、地理歴史、公民など、現代社会の理解のために高等学校の求める学習を理解しておくこと。
2. 国際・国内ビジネスや知財ビジネスに関連する仕事のほか、公務員、民間企業の法務などに関心を持つこと。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部

文学部では、教育学、歴史学および地理学、文学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、教育学科・史学地理学科・日本文学文化学科のそれぞれにおいて、学科ごとに掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科など、高等学校等で身に付けるべき基礎的な能力を身に付けていること。
2. 教育に関する時事情報を得る習慣、地理や歴史に関して興味を持った事柄を調べる習慣や小説や随筆などの文学作品を読む習慣を身に付けていること。

【教育学科】

教育学科では、教育学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. 【知識・理解・技能】

教育学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 高等学校等で身に付ける標準的な知識・技能を有している。特に、国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科などの基礎的な能力を有している。
(AP1-2) スポーツ活動や文化的な活動、資格・検定の取得等の経験をいかし、入学後も学内外の学習活動等を行っていく意志を有している。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

人文・社会の諸問題について関心を持ち、学んだ知識や得られた経験から思考し、判断し、自分の考えを的確に表現できるようになるための、人間としての成長に対する真摯な姿勢を有している。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

自ら進んで行動する能力を有するとともに、多様な価値観を受け入れ尊重し、他者とともに生きることの大切さを理解している。

【史学地理学科】

史学地理学科では、歴史学および地理学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. 【知識・理解・技能】

史学地理学科の教育を受けるために必要な基礎学力を有していること、あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 考古・日本史学コース：高等学校等で身に付ける標準的な知識を有している。特に考古学を含む歴史に興味関心があり、実習や研修に積極的に参加し、知見を深めていく意欲を持っている。

地理・環境コース：高等学校等で身に付ける標準的な知識を有している。特に地理や環境問題に興味関心があり、実習や研修に積極的に参加し、知見を深めていく意欲を持っている。

(AP1-2) スポーツ活動や文化的な活動、資格・検定の取得等の経験をいかし、入学後の学習活動等を行っていく意志を有している。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

人文・社会の諸問題について関心を持ち、学んだ知識や得られた経験を活かして思考し、判断し、自分の考えを的確に表現できるようにするための、人間としての成長に対する真摯な姿勢を有している。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

自ら進んで行動する能力を有するとともに、他者の多様な価値観を受け入れ尊重し、他者とともに生きることの大切さを理解している。

【日本文学文化学科】

日本文学文化学科では、文学と関連諸科学の知識・技能を習得し、それを基礎とする思考力、判断力と表現力を身に付け、さらに主体性を持って広く社会に貢献することを目指す学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

AP1. 【知識・理解・技能】

日本文学文化学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識を有している。あるいは秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 高等学校等で身に付ける標準的な知識を有している。特に小説や随筆などの文学作品を読む習慣を身に付けている。

(AP1-2) スポーツ活動や文化的な活動、資格・検定の取得等の経験をいかし、入学後も学内外の学習活動等を行っていく意志を有している。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

人文・社会の諸問題について関心を持ち、学んだ知識や得られた経験から思考し、判断し、自分の考えを的確に表現できるようになるための、人間としての成長に対する真摯な姿勢を有している。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

自ら進んで行動する能力を有するとともに、他者の多様な価値観を受け入れ尊重し、他者とともに生きることの大切さを理解している。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

21 世紀アジア学部

常に自らを向上させ、自律した自己を確立しようとする意志をもち、世界で活躍することを目指す学生を歓迎します。このような姿勢をもつ入学希望者を適正に判定するために、次の観点から入学者選抜を実施します。

【21 世紀アジア学科】

AP1. 【知識・理解・技能】

21 世紀アジア学部の教育を受けるのに必要な基礎学力や秀でた実技能力を有している。

(AP1-1) 高等学校などで身につけるべき標準的な知識を有している。

(AP1-2) スポーツ活動等において優秀な成績を収めている。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

自らの知識や技能を用いて、ものごとを多面的に捉え、根拠に基づいた判断を行い、その結果を他者にわかりやすく説明できる力を有している。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

グローバル化する社会において、自ら積極的に学び、多様な人々と協調して生きる姿勢を有している。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 日本やアジアの歴史や地理、政治や経済などの分野に関する知識。
2. 外国語でコミュニケーションができる基礎能力。

経営学部

経営学部では、企業や組織の行動に関心を持ち、これからの経済・社会・文化における諸問題の解決に取り組むことができるビジネス人としての志を持ち、人格の向上と形成を目指して真摯に学修する気概ある学生を受け入れます。

また、このような入学者を適正に判定するために、経営学科において、次に掲げる観点から、多様な方法による入学者選抜を実施します。

【経営学科】

AP1. 【知識・理解・技能】

経営学科の教育を受けるために必要な基礎学力としての知識を有していること、あるいは秀でた実技能力などを有している。

(AP1-1) 英語、国語、数学、地理歴史、公民、理科、情報、時事などについて、高等学校などで身につけるべき標準的な知識を有している。

(AP1-2) スポーツ活動において優秀な成績を収め、入学後、スポーツ活動を継続する意欲と卒業条件を達成する強い意志を有している。

AP2. 【思考力・判断力・表現力】

企業の経済活動や社会使命に関わる諸問題に関心を持ち、自ら求めて学び、自分が考えたことを、他者に対してわかりやすく表現することができる。

AP3. 【主体性・多様性・協働性】

グループ活動や協働作業の意義を理解し、多様な課題を解決するため、意見や立場の違いを尊重しつつ、自ら進んで行動する態度を有している。

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 英語、国語、数学、地理歴史、公民、理科、情報などをしっかり学習しておくこと。
2. 社会、特に企業の活動に興味を持ち日常的にニュースを読み、自らの考えや意見が述べられるように社会の動きに興味を持ち調べるようにしておくこと。
3. 文章読解能力および記述能力と計算能力が重要となるので、読み書きや演算などに習熟しておくこと。

選抜制度・区分及び「学力の3要素」の評価方法

本学では、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学力の3要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行います。

選 抜 制 度 ・ 区 分		「学力の3要素」の評価方法
学校推薦型選抜	指定校推薦選抜	出願書類として「調査書」「学修計画書」等を提出していただきます。小論文については中等教育における「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」、面接及び書類審査については「思考力・判断力・表現力等」と「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を評価します。

個人情報取扱いについて

出願及び入学手続きにおいて本学が取得した個人情報は①入学者選抜実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、④学部からの課題研究（入学前教育）、⑤個人を特定することができない方法、形式による統計的集計、⑥入学後の学籍管理、学修指導及び学生支援関係業務、これらに付随する事項等を行うために利用します。

上記の業務は、その一部の業務を国士舘大学入試部より当該業務の委託を受けた業者（以下、「委託業者」という。）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。予めご了承ください。なお、委託業者にはその委託業務を越えた利用はありません。

指定校推薦選抜要項

1. 出願資格

高等学校等（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を令和9年3月までに卒業見込みの者で、本学を第一志望とし、高等学校長等が責任をもって推薦する者。および、該当学部の出願基準を満たす者。

2. 理工学部の出願形態について

フレキシブル出願制度（指定されている場合のみ）

フレキシブル出願制度とは、出願時には志望学系の選択は行わず、入学時までに希望学系の相談を行い、入学学系を決定する制度です。希望者は出願時にフレキシブル出願を選択してください。

3. 日程等

出 願 期 間	令和8年11月1日（日）～11月6日（金） 出願期間最終日の翌日消印有効		
試 験 日	令和8年11月20日（金）		
合 格 発 表 日	令和8年12月1日（火）		
入学手続完了日	1次手続締切日 令和8年12月16日（水） 2次手続完了日 令和9年1月31日（日）		
試 験 会 場	世 田 谷 キ ャ ン パ ス 9：30 までに入室 多摩キャンパス（体育学部のみ）		
選 抜 内 容	1 時 限 目 10：00～11：00	小 論 文（600 字）	100 点
	1 時 限 目 終 了 後	面 接	100 点
	書類審査（調査書、学修計画書、推薦書）		100 点

4. 選抜方法

（1）評価方法について

小論文、面接、書類審査の総合評価によって合否判定を行います。ただし、総合評価が合格点に達していても、いずれかの評価が著しく低い場合は、不合格となる場合があります。

（2）面接について

理工学部理工学科では、面接内で学問的な質問をする可能性があります。

5. 出願方法

以下の（1）～（5）全ての手続きが完了していない場合は出願を受け付けることが出来ません。必ず行うようご注意ください。

「一般公募制推薦選抜」とは異なる選抜制度です。誤出願に気を付けてください

（1）教員による推薦状況回答フォームへの回答

回答の有無を進路ご担当の先生に確認してください。回答後出願に必要なパスワードが発行されます。

（2）マイページ登録

『p. 8 マイページ登録から入学手続までのご案内』を確認の上、『pp. 9～12 マイページ登録方法』を参照してください。

（3）インターネット出願

『p.13 インターネット出願方法』を参照してください。

（4）入学検定料納入【入学検定料：35,000 円】

納入方法は『p.14 入学検定料』を参照してください。

(5) 出願書類の郵送（出願期間最終日の翌日消印有効）

下表に定める出願書類を必ず提出してください。作成にあたり「記入する」か「入力する」かは自由です。

「入力する」場合は字数制限があります。全角で1行に入力できる文字数は各様式に記載しています（※最初や最後の文字に促音・拗音・長音符・括弧・記号が含まれる場合は、この限りではありません。文字数には、空白（スペース）、改行および半角も1文字として扱われます。また、氏名に外字（JIS 第1・第2水準以外の漢字）を使用している場合、正しく印字されないことがあります。この場合、氏名欄は手書きでご記入ください。）

「記入する」場合は消えない黒のボールペンを使用してください。それ以外で記入されたものは一切受け付けません。

出 願 書 類	詳 細
インターネット出願確認票	○ 入学検定料納入完了後、マイページより印刷が可能になります。マイページメニュー「STEP4 出願確認」へ進み、印刷してください。
調査書 【開封無効】	○ 出願3ヵ月以内に出身学校長に作成されたものに限りです。 ○ 被災・その他事情により調査書の入手が不可能な場合は、出願前に入試部に連絡の上、卒業見込証明書等を提出してください。
【様式2】学修計画書	○ 右肩部分に「指定校推薦選抜」と記された、所定の様式を用いて本人が記入（または入力）してください。
【様式3】推薦書 【開封無効】	○ 右肩部分に「指定校推薦選抜」と記された、所定の様式を用いて高等学校等の先生に記入（または入力）してもらってください。 ○ こどもスポーツ教育学科の志願者のみ「スポーツ活動状況」欄も高等学校の先生に記入（または入力）してもらってください。
【様式4】面接票	○ 右肩部分に「指定校推薦選抜」と記された、所定の様式を用いて本人が記入（または入力）してください。
合格証明書（特定商業高校のみ）	「日商簿記2級」「全商簿記1級」「全商会計2科目以上」のいずれかに合格していることがわかる証明書を提出してください。

※様式は、「A4サイズ」で印刷してください。

(6) 諸注意

- ①出願する学部・学科（学系・コース）と指定の学部・学科（学系・コース）に相違がないか、出願前に必ずご確認ください。
- ②指定された学部・学科等の変更、出願後の変更は一切認められません。また、提出された出願書類は返還いたしません。
- ③一度納入された入学検定料は原則として返還いたしません。ただし返還事由に該当された場合は返還の対象となります。詳細はp.14を確認してください。
- ④追試験についてp.16「8. 試験当日の欠席について」をご確認ください。
- ⑤その他詳細については、進路ご担当の先生に確認してください。

※障害等のある方への受験・修学上の配慮

申請方法は本学ホームページ「受験上の配慮を必要とする方の出願について」

(<https://www.kokushikan.ac.jp/admission/undergraduate/support/>) をご確認ください。

・本学の受験・修学に際し、病気・負傷や身体機能の障害等のために、受験及び修学上特別の配慮を希望する者は出願前に申請が必要です。申請に基づき、審査の上、配慮内容を通知します。なお、審査には時間を要することもあるので、できるだけ早い時期に問い合わせてください（試験日間近のお問い合わせには対応できない場合があります。また、申請内容に応じてヒアリングを行う場合があります。予めご了承ください）。

・日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している者で、試験当日も同様に使用する場合は試験場設定等の関係から、配慮を希望する者として、必ず申請してください。

・デリバリー・中期選抜において受験時に配慮を希望する場合、原則として世田谷(本学)会場での受験となります。

・大学入学共通テスト利用選抜の受験者も修学上配慮を希望する場合は、必ず事前に問い合わせてください。

6. 入学前教育について

入学手続（1次手続）完了者に対して、課題研究（入学前教育）を課します。各学部からの指示に従って必ず行ってください。なお、取り組み状況について、高等学校に報告することがあります。

「マイページ登録」から「入学手続」までのご案内

マイページより、[出願登録・受験票印刷・合否結果確認・入学手続]を行うことができます。

1

マイページ登録

pp.9～12参照

出願期間前でもマイページ登録ができます。

2

インターネット出願

p.13参照

各選抜の出願期間になると、該当する選抜制度の出願ができるようになります。

※指定校推薦選抜の場合出願時にパスワードが必要となります。パスワードについては進路ご担当の先生にご確認ください。

3

入学検定料の納入

pp.13～14参照

インターネット出願期間内にお支払いができなかった場合、受験はできません。

4

出願書類の郵送

p.13参照

インターネット出願期間最終日の翌日消印有効です。

5

「受験票」の印刷

pp.13～14参照

※「受験票」の郵送は行いません。

試験日の3日前を目安に公開します。試験当日は印刷したものを持参してください。

6

受験

p.15参照

【受験注意事項】と出願した選抜の日程・試験場を必ずご確認ください。

7

オンライン合否照会

※郵送・掲示等での発表、電話やメールでの合否照会は行いません。

マイページの合否結果メニューよりご確認ください。

8

入学手続

※「合格通知書」「入学手続の手引」等の郵送は行いません。

各種書類はマイページの入学手続メニューよりダウンロードしてください。

マイページ登録方法

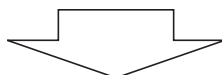
マイページ登録は「メールアドレスの登録」「パスワードの設定」「個人情報の入力」「証明写真の登録」を行うことで完了します。

出願する前に、以下の手順でマイページへ登録をおこなってください。

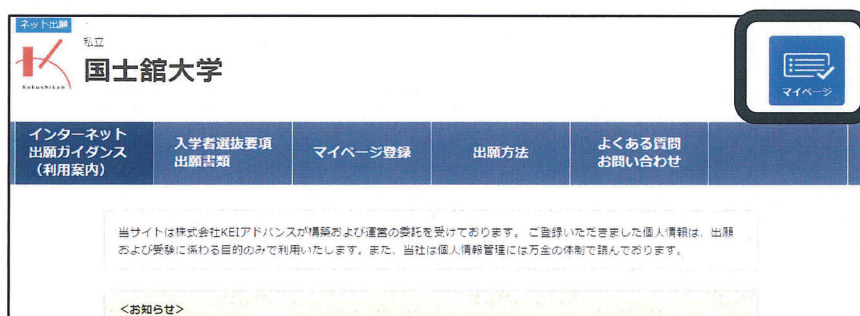
※マイページ登録は、令和8年9月1日（火）午前10時より可能となります。

①登録画面へアクセス

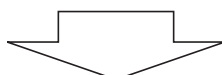
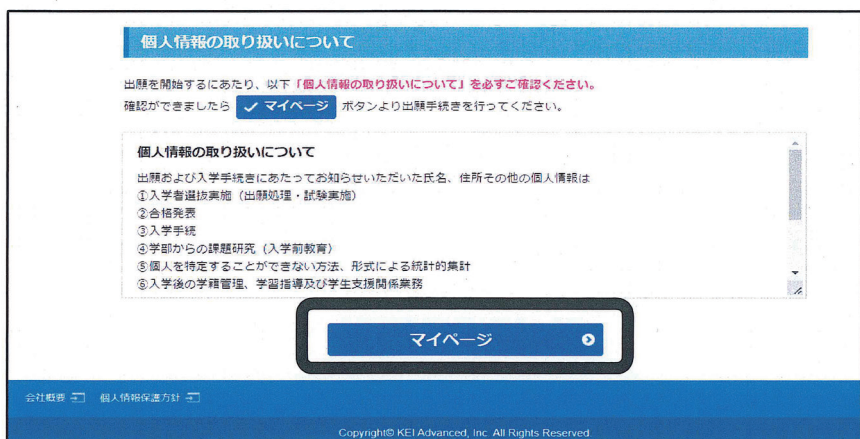
国土館大学ホームページ (<https://www.kokushikan.ac.jp/admission/>) より、インターネット出願ガイダンスサイトへ進みます。



ガイダンスページ内の「利用案内」や「個人情報の取り扱いについて」を確認の上、画面上部または下部の「マイページ」をクリックしてください。



または

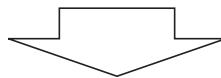


マイページのログイン画面が開きますので、メールアドレスの登録及びパスワードの設定を行ってください。

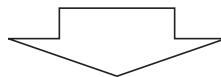


②メールアドレスの登録

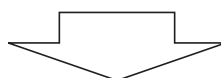
「マイページを初めてご登録の方」から「利用規約」に進みます。



「利用規約」を確認し、「同意する」をクリックしてください。



出願手続から入学手続まで今後使用するメールアドレスを入力し、「登録」をクリックしてください。

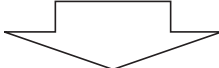
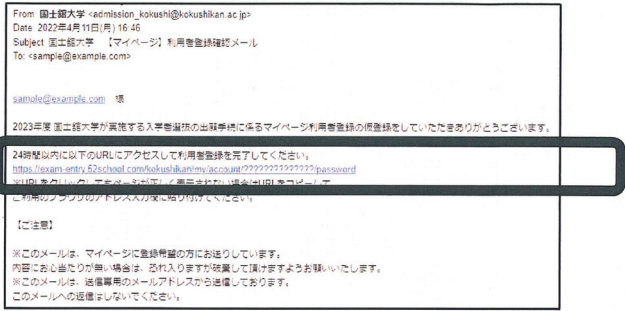


入力したメールアドレスに「利用登録者確認メール」が送信されますので、各自のメールアプリ・ブラウザ等で開いてください。

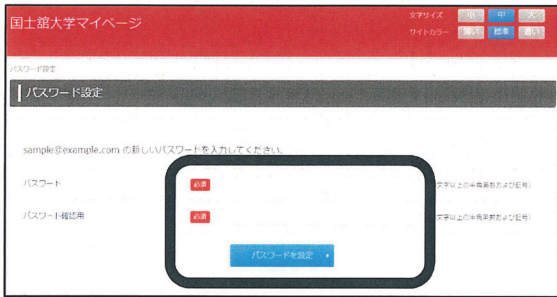


③パスワードの設定

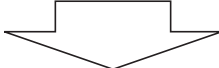
「利用登録者確認メール」本文内の URL から「パスワード設定」に進んでください。



今後マイページへのログイン時に使用するパスワードを入力し、「パスワードを設定」をクリックしてください。



設定したメールアドレスとパスワードは、メモ等に必ず控えておいてください。



引き続き「個人情報登録」「証明写真の登録」を行ってください。



④個人情報の入力

マイページの「個人情報登録」から、画面のガイドに従って氏名・生年月日・住所等を入力してください。

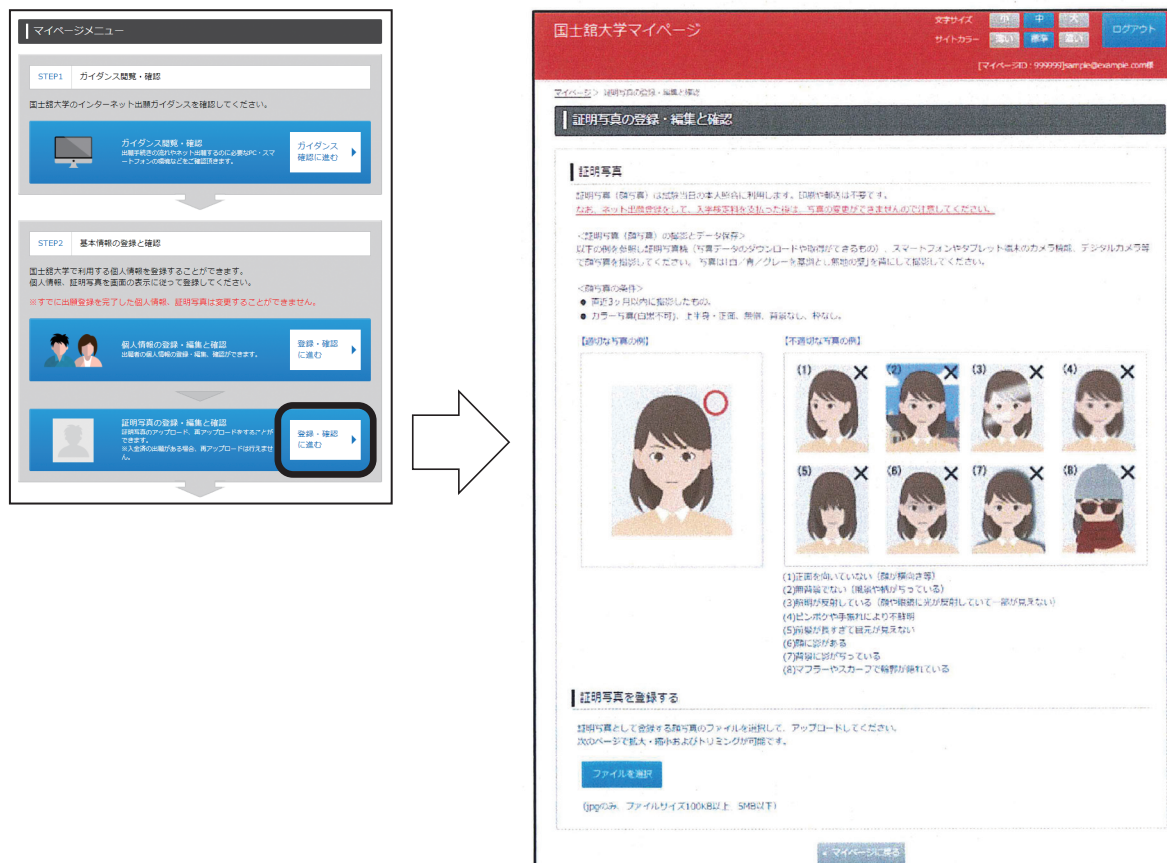


⑤証明写真の登録

マイページの「証明写真の登録」から画面のガイドに従って登録してください。写真の郵送は不要です。

●証明写真の撮影

- ・jpgファイルのみ。ファイルサイズ100KB以上5MB以下。
- ・直近3ヶ月以内に撮影したもの（白黒不可）。



以上でマイページ登録は完了です。

出願期間になると該当する選抜制度の出願ができるようになります。

インターネット出願方法

インターネット出願は、出願期間内に[マイページ]より[インターネット出願登録][入学検定料納入]を行い、所定の期日までに「出願書類の郵送」を行うことで完了します。

※期日までに推薦状況回答フォームへの回答が完了しているかを進路ご担当の先生にご確認いただき、[出願登録]を行ってください。

※出願時に必要なパスワードは推薦状況回答フォームへの回答が完了すると発行されます。

①出願登録



マイページメニューの「STEP 3 出願登録」より、出願登録を行います。画面の指示に従い、出願する選抜制度（※パスワードの入力が必要です）、志望学部・学科等及びアンケートを入力してください。
※パスワードは進路ご担当の先生にご確認ください。

②登録内容の確認



マイページメニューの「STEP 4 出願確認」より、登録内容の確認を行います。
※登録内容の変更（再登録）は、入学検定料納入前に限り、出願期間内に再登録が可能です。

再登録する場合は、マイページメニューの「STEP 4 出願確認」より、該当の出願について「出願取消」ボタンで削除を行い、新たに再登録してください。
入学検定料納入後は、登録内容の変更（再登録）及び出願の取り消しができませんので、納入前に選抜制度や出願学科等を今一度ご確認ください。

③入学検定料納入とインターネット出願確認票の印刷

所定の期日までに入学検定料を納入してください（サービス利用料がかかります）。納入期限内にお支払いがなかった場合、受験はできませんので、注意してください。また、納入に際し、利用する金融機関、施設によっては営業時間が異なりますので、出願最終日は特に注意してください。

※入学検定料の支払方法は以下サイトをご確認ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/shared/pay-pattern/paygent-03.html>

※入学検定料のお支払いや支払いに必要な番号等の発行は、「STEP 3 出願登録」の「登録完了」画面または「STEP 4 出願確認」より行うことができます。

入学検定料の納入が完了すると、インターネット出願確認票が印刷できるようになります。

マイページの「STEP 4 出願確認」より、ダウンロードを行い印刷してください。

④出願書類の郵送

出願書類を所定の期日までに市販の角形2号封筒（A4が折らずに入るサイズ）に宛名ラベルを貼付し、「簡易書留速達」で郵送してください。所定の期日を過ぎて提出された書類は受領できません。この場合、受験することができませんので、ご注意ください。

⑤受験票の印刷

大学での出願受付処理後、公開期間になりましたら「受験票」のダウンロードが行えます。「受験票」は原則、試験の3日前を目安に公開します。

「受験票」の郵送は行いませんので公開期間になりましたら「受験票」をダウンロードしA4タテで印刷し、試験当日に持参してください。

入学検定料

1. 入学検定料

35,000 円（※サービス利用料を除いた金額です）

2. 入学検定料納入方法

入学検定料の納入は、銀行 ATM [Pay-easy]、コンビニエンスストア、クレジットカードをご利用頂けます。詳細は、インターネット出願のガイダンスに従って、納入してください。

3. 入学検定料の返還について

一度納入された入学検定料は原則として返還はいたしません。ただし、次の返還事由(1)～(4)のいずれかに該当し、返還請求が受理された場合は、入学検定料を返還します。なお、出願時の振込手数料は返還の対象となりません。

- (1) 定められた期間内に書類を提出しなかった場合
- (2) 書類が受理されなかった場合
- (3) 適正な額より多く納入した場合
- (4) その他本学が認める特別な理由がある場合

返還事由に該当する場合は、令和8年11月20日（金）までに返還請求フォームへの回答を完了してください。期限内にフォームへの回答が完了しない場合は、返還に応じることができません。また、期限経過後の請求には一切応じません。

返還請求フォーム：

<https://forms.office.com/r/ig3GsE9WVJ>



受験票について

- (1) 「受験票」の郵送は行いません。予めマイページの＜受験票＞よりダウンロードを行い印刷してください。試験当日は、印刷した「受験票」を持参してください。大学での出願受付処理の後、公開期間になりましたらダウンロードすることができます。「受験票」は原則、試験の3日前を目安に公開します。
- (2) 「受験票」の記載内容が、インターネット出願で登録した内容と相違がないか、必ず確認してください。
- (3) 記載内容に相違がある場合は、直ちに入試部（03-5481-3211）までご連絡ください。登録の内容を確認します。

受験注意事項

1. 受験票

- (1) 「受験票」に印字されている志願学科等を必ず確認してください。
- (2) 試験当日は受験票を常時携帯してください。
- (3) 「受験票」を忘れた場合は、集合時間前までに「受験票再発行窓口」にて再発行の手続きを行ってください。

2. 試験当日の持参用具等

- (1) 筆記用具は、HB 以上の黒鉛筆、シャープペンシル（HB・0.5mm以上の芯）を使用してください。
ボールペン、万年筆、色鉛筆、ラインマーカー等の使用は認めません。
- (2) 消しゴムはプラスチック消しゴムを使用してください。
- (3) 本学では、筆記用具等の貸出しは一切行いません。
- (4) 時計に、辞書、電卓、端末、通信等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいものは、試験時間中に使用できません。また、携帯電話等を時計として使用することも認めません。本学では時計の貸出しは一切行いません。
- (5) 食堂の営業等はいきませんので、昼食を持参してください。
- (6) 感染症等の対策のため、マスクの着用を指示する場合があります。また試験室の換気のため、窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を準備してください。

3. 試験会場

- (1) 本学の構内及び周辺には駐車場がありませんので車での来校はご遠慮ください。
- (2) 試験当日の入構開始時間は、8：15 です。

4. 試験室

- (1) 試験当日に会場で試験室案内を確認し、所定の時間までに試験室に入室してください。
- (2) 机上の受験番号等が記載されているラベルを確認後着席し、試験監督の指示に従ってください。
- (3) 試験室において、他の受験生に迷惑となる行為はおやめください。

5. 不正行為

以下で示す行為は、不正行為となる場合があります。不正行為を行った場合は、直ちに受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。

また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。

- (1) 試験時間中に、受験票の他、〔2. 試験当日の持参用具等〕で示された筆記用具以外を机の上に置いていた場合。
- (2) 試験時間中に、次のものを使用した場合。

- ◆和歌・格言等が表記されている筆記用具
- ◆時計（辞書、電卓、端末、通信等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のもの）
- ◆定規（定規の機能を備えたその他筆記用具を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ◆携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器、通信機器類

- (3) カンニング（試験の教科・科目に関するメモやコピー等を見ること、教科書、参考書、辞書等を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他人から答えを教わること等）をした場合。
 - (4) 他の受験者に答えを教える等、カンニングの手助けをした場合。
 - (5) 試験時間中に問題冊子及び解答用紙（答案用紙）を試験室の外に持ち出した場合。
 - (6) 試験開始前に問題冊子を開いた場合。
 - (7) 試験終了後に筆記用具を持っている場合。
- ※その他、試験監督者の指示に従わなかった場合、不正行為となることがあります。

6. 遅刻

- (1) 第1時限目の試験開始後 20 分まで入場を認めます。
- (2) 第1時限目の試験開始 20 分経過後の遅刻者及び欠席者は、第2時限目以降の受験は認めません。
- (3) 試験当日、電車のダイヤが乱れる等、不測の事態が起きた場合は、入試部（03-5481-3211）までお問い合わせください。

7. 退出

試験時間中に試験室を退出することはできません。なお、特別な理由がある場合は、試験監督の指示に従ってください。

8. 試験当日の欠席について

次の(1)～(2)のいずれかに該当した場合、別日程で追試験を実施いたします。

- (1) 学校保健安全法に基づく感染症に罹患した場合
- (2) その他本学が認める特別な理由がある場合

【追試験】

試験日：令和8年12月13日（日）

合格発表日：令和8年12月19日（土）

入学手続日：（1次手続締切日）令和9年1月5日（火）

（2次手続完了日）令和9年1月31日（日）

【追試験申請方法】

①本学への申し出（電話連絡）

②追試験申請申込書の提出（診断書等添付）

なお、試験当日の15時を過ぎてからの申し出には対応できません。

9. その他注意事項

- (1) 指定された全ての科目を受験していなかった場合、欠席扱いとなります。
- (2) 試験当日、会場周辺や主要の駅前において本学の関係者を装い有料の合否発表サービスなどの勧誘を行う業者がありますが、本学とは一切関係ありません。本学が構外で合否結果の通知受付をすることは絶対にありません。万一、業者との間にトラブルが生じて本学では一切責任を負いませんので十分注意してください。

合否確認方法

合格発表は発表日の11:00からマイページで行います。

なお、合格通知書等の郵送は行いません。合格通知書及び「入学手続の手引」をマイページに掲載いたします。

■マイページログイン画面 URL

<https://exam-entry.52school.com/kokushikan/my/session/create>

※学内掲示や郵送等での発表は行いません。また、電話による問い合わせは、受験生本人であることが確認できませんので、いかなる理由があろうとも、一切応じません。

入学手続

1. 入学手続についての注意事項

- (1) 入学手続の詳細は、マイページに掲載する「入学手続の手引」に記載しておりますので確認してください。
- (2) 本学が定めた所定の期日を過ぎてからの、納入金振込及び学籍関連情報登録等は一切受け付けません。したがって、この場合は入学を許可できませんので、十分ご注意ください。
- (3) 一度本学に提出された書類は、いかなる事情があっても返還しません。
- (4) 「2段階納入手続方法」による入学手続の場合、2次手続完了をもって入学許可となります。

2. 入学手続の概要

入学手続は、以下の①～④すべてを行うことで完了となります。合格者は、本学が定める所定の期日までに、すべての手続を完了してください。

【マイページ上での手続】

- ① 納入手続（入学金・学費等の支払い）
- ② 学籍関連情報の登録（学生本人・保証人情報等）
- ③ 学生証用写真のアップロード

【郵送手続】

- ④ 提出書類の郵送（在学保証書 兼 入学誓約書・卒業証明書等） ※詳細は、「入学手続の手引」をご確認ください。

3. 納入手続方法

【2段階納入手続】（※納入金額は p.17 で確認してください。）

1次手続締切日までに、「入学金¥200,000」の納入を完了してください。

次に、入学意思の最終決定となる2次手続完了日までに、「前期納入金」または、「年間納入金」（共に入学金を除く）の納入と「学籍関連情報登録及び学生証用写真アップロード」を完了してください。

なお、「入学金」の納入が確認できない場合、「前期納入金」または「年間納入金」を納入していても、1次手続は完了したものとみなしません。

4. 納入金額一覧

令和 9 年度入学生の納入金

(単位：円)

学 部 等		年次	納入金内訳				前 期 納入額	後 期 学 費	年間合計 ※	
			入学金	学 費						諸費
				授業料	施設設備費	実験実習費				
政経学部	政治行政学科 経済学科	1	200,000	790,000	292,000	0	10,000	746,000	546,000	1,292,000
		2		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
		3		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
		4		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
体育学部	体育学科	1	200,000	888,000	429,000	75,000	5,000	898,500	698,500	1,597,000
		2		888,000	429,000	80,000	5,000	701,000	701,000	1,402,000
		3		888,000	429,000	30,000	5,000	676,000	676,000	1,352,000
		4		888,000	429,000	30,000	5,000	676,000	676,000	1,352,000
	武道学科	1	200,000	888,000	429,000	30,000	5,000	876,000	676,000	1,552,000
		2		888,000	429,000	30,000	5,000	676,000	676,000	1,352,000
		3		888,000	429,000	70,000	5,000	696,000	696,000	1,392,000
		4		888,000	429,000	30,000	5,000	676,000	676,000	1,352,000
	スポーツ医科学科	1	200,000	899,000	499,000	150,000	5,000	976,500	776,500	1,753,000
		2		899,000	499,000	200,000	5,000	801,500	801,500	1,603,000
		3		899,000	499,000	250,000	5,000	826,500	826,500	1,653,000
		4		899,000	499,000	200,000	5,000	801,500	801,500	1,603,000
	こどもスポーツ教育学科	1	200,000	888,000	433,000	100,000	5,000	913,000	713,000	1,626,000
		2		888,000	433,000	105,000	5,000	715,500	715,500	1,431,000
		3		888,000	433,000	55,000	5,000	690,500	690,500	1,381,000
		4		888,000	433,000	55,000	5,000	690,500	690,500	1,381,000
理工学部	理工学科	1	200,000	1,045,000	305,000	97,000	0	923,500	723,500	1,647,000
		2		1,045,000	305,000	97,000	0	723,500	723,500	1,447,000
		3		1,045,000	305,000	97,000	0	723,500	723,500	1,447,000
		4		1,045,000	305,000	97,000	0	723,500	723,500	1,447,000
法学部	法律学科	1	200,000	790,000	292,000	0	10,000	746,000	546,000	1,292,000
		2		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
		3		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
		4		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
	現代ビジネス法学科	1	200,000	790,000	292,000	0	10,000	746,000	546,000	1,292,000
		2		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
		3		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
		4		790,000	292,000	0	10,000	546,000	546,000	1,092,000
	(現代ビジネス法学科) 社会人入学生	1	200,000	450,000	247,000	0	10,000	553,500	353,500	907,000
		2		450,000	247,000	0	10,000	353,500	353,500	707,000
		3		450,000	247,000	0	10,000	353,500	353,500	707,000
		4		450,000	247,000	0	10,000	353,500	353,500	707,000
文学部	教育学科	1	200,000	840,000	302,000	50,000	8,000	800,000	600,000	1,400,000
		2		840,000	302,000	50,000	8,000	600,000	600,000	1,200,000
		3		840,000	302,000	50,000	8,000	600,000	600,000	1,200,000
		4		840,000	302,000	50,000	8,000	600,000	600,000	1,200,000
	史学地理学科 地理・環境コース	1	200,000	840,000	302,000	20,000	8,000	785,000	585,000	1,370,000
		2		840,000	302,000	20,000	8,000	585,000	585,000	1,170,000
		3		840,000	302,000	20,000	8,000	585,000	585,000	1,170,000
		4		840,000	302,000	0	8,000	575,000	575,000	1,150,000
	史学地理学科 考古・日本史学コース 日本文学文化学科	1	200,000	840,000	302,000	0	8,000	775,000	575,000	1,350,000
		2		840,000	302,000	0	8,000	575,000	575,000	1,150,000
		3		840,000	302,000	0	8,000	575,000	575,000	1,150,000
		4		840,000	302,000	0	8,000	575,000	575,000	1,150,000
ア21 アジア 学部紀	21世紀アジア学科	1	200,000	840,000	299,000	0	10,000	774,500	574,500	1,349,000
		2		840,000	299,000	0	10,000	574,500	574,500	1,149,000
		3		840,000	299,000	0	10,000	574,500	574,500	1,149,000
		4		840,000	299,000	0	10,000	574,500	574,500	1,149,000
経営学部	経営学科	1	200,000	790,000	292,000	0	8,500	745,250	545,250	1,290,500
		2		790,000	292,000	0	8,500	545,250	545,250	1,090,500
		3		790,000	292,000	0	8,500	545,250	545,250	1,090,500
		4		790,000	292,000	0	8,500	545,250	545,250	1,090,500

※年間納入額は、「年間合計」に「国士舘大学教育後援会費 10,000 円（代理徴収）」、「同窓会費 5,000 円（代理徴収）」を加えた金額となります。

1. 諸費は研究費・学会費をいい、金額が変更になる場合があります（体育学部は研究費を、理工学部は研究費・学会費を徴収しません）。
2. 前期納入額は、入学金に学費・諸費のそれぞれ半額を加えた金額となります。
3. 後期学費は、学費・諸費のそれぞれ半額で、10月に分納する場合の納入金額をいいます。

5. 入学辞退について

入学辞退受付期間……令和9年3月31日（水） 午後4時まで

詳細は、「入学手続の手引」を熟読し、手続を行ってください。

本学を第一志望とした選抜制度の「指定校推薦選抜」については、入学金及びその他の納入金の返還はいたしません。

6. 寄付金等について

本学では、入学後に寄付金等を募集する場合がありますが、応募は任意であり、また入学前の募集は行っておりません。

奨学制度

1. 入学者選抜に係る学内奨学生

(1) 制度一覧

名 称	資 格	募集時期	採用時期	減 免 範 囲 (※)	審査方法
(ア) 成績優秀奨学生	デリバリー選抜及び大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期合格者の成績上位者（総得点80%以上を得点した50名）	デリバリー選抜及び大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	合格発表日	奨学生A 入学金、授業料、施設設備費（原則4年間、1年に1度、継続の審査有り）	デリバリー選抜及び大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期の成績により選考
(イ) 運動技能優秀奨学生	入学を希望する者の中で、本奨学制度に出願し、各種スポーツの全国大会もしくは国民体育大会において、優勝または入賞した者及びこれと同等の技能を有する者の中から選考	AO選抜、スポーツ・武道選抜、内部推薦選抜における入学志願時（本人出願）	合格発表日	奨学生A 入学金、授業料、施設設備費 奨学生B 授業料、施設設備費 奨学生C 授業料 奨学生D 授業料の5割	競技成績等により選考

※奨学生区分が「A」の場合であっても、諸費や実験・実習費等は減免範囲には含まれません。入学手続で示す所定の期日までに納入を完了してください。

(2) 出願について

(ア) 成績優秀奨学生は、デリバリー選抜及び大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期の出願が自動的に成績優秀奨学生への出願となります。

入学金、授業料、施設設備費が免除になります。（原則4年間、1年に1度継続の審査有り）

お問い合わせ先：学生部 学生・厚生課 TEL 03-5451-8114

(イ) 運動技能優秀奨学生出願希望者は、インターネット出願確認票、調査書等提出書類とともに運動技能優秀奨学生願書を提出してください。運動技能優秀奨学生願書には必要事項を記入してください。

(3) 結果通知

(ア) 成績優秀奨学生採用者には、マイページの入学手続メニューにて、合格通知書とともに成績優秀奨学生採用通知書が出力されます。

(イ) 運動技能優秀奨学生採用者には、当該入学者選抜の可否発表後、採用通知書等を別途郵送します。

2. 在学生に係る奨学金（参考）

(1) 学内奨学生

名 称	資 格	募集時期(予定)	採用時期(予定)	減免範囲	返済の有無
学業優秀奨学生	本学に1年以上継続して在学する者で、学業成績が特に優秀な者から選考（外国人留学生を除く）	4月中旬 (学部選考)	5月下旬	奨学生D 授業料の5割	無し
修学援助奨学生	家計支援者が、死亡又は後遺障害のため納入金の支払いが困難と認められる者とし、その事由が入学手続き後に生じた者の中から選考（外国人留学生を除く）	春期 4月中旬 (本人出願)	7月上旬		無し
		秋期 9月中旬 (本人出願)	11月下旬		

(2) 学外奨学生（日本学生支援機構）

名 称	資 格	募集時期	採用時期	貸与または給付金額（月額）	返済の有無
(貸与型) 第一種奨学金	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難があり、別に定める貸与基準（学力・家計・人物）を満たす者	4月上旬	7月上旬 (予定)	自宅通学者 2万円、3万円、4万円、5万4千円から選択 自宅外通学者 2万円、3万円、4万円、5万円、6万4千円から選択	有り (無利子)
(貸与型) 第二種奨学金	優れた学生で経済的理由により修学に困難があり、別に定める貸与基準（第一種奨学金より緩やか）を満たす者（外国人留学生を除く）			2万円～12万円の間で1万円単位で選択	有り (有利子)
(給付型) 給付奨学金	優れた学生であって、住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯の者（外国人留学生を除く）			自 宅：第Ⅰ区分 38,300円 第Ⅱ区分 25,600円 第Ⅲ区分 12,800円 第Ⅳ区分(多子世帯) 9,600円 自宅外：第Ⅰ区分 75,800円 第Ⅱ区分 50,600円 第Ⅲ区分 25,300円 第Ⅳ区分(多子世帯) 19,000円 ※採用区分により異なります（選べません）	無し (原則返還不要)

- ・入学時特別増額貸与奨学金〔有利子 利率：原則として、基本月額に係る利率に0.2%を上乗せした利率とします。〕
※入学時に係る一時的な経費に対応するため、入学月又は機構が定める月の貸与月額に定額10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の増額貸与を選択できます。入学前の貸与ではありませんので、ご注意ください。
- ・日本学生支援機構奨学生の申し込み機会は、進学前（予約採用）と進学後（在学採用）があります。
詳しくは、日本学生支援機構ホームページをご覧ください。

奨学制度

(前ページからの続き)

(3) 国の高等教育の修学支援新制度について (文部科学省)

名 称	資 格	募集時期	採用時期	減免金額 (年間)
授業料等減免	日本学生支援機構給付奨学金に採用された者	4月上旬	7月上旬 (予定)	第Ⅰ区分 : 入学金 200,000 円、授業料 700,000 円 第Ⅱ区分 : 入学金 133,400 円、授業料 466,700 円 第Ⅲ区分 : 入学金 66,700 円、授業料 233,400 円 第Ⅳ区分(理工農系) : 入学金 66,700 円、授業料 233,400 円 第Ⅰ区分(多子世帯) : 入学金 200,000 円、授業料 700,000 円 第Ⅱ区分(多子世帯) : 入学金 200,000 円、授業料 700,000 円 第Ⅲ区分(多子世帯) : 入学金 200,000 円、授業料 700,000 円 第Ⅳ区分(多子世帯) : 入学金 200,000 円、授業料 700,000 円 多子世帯 : 入学金 200,000 円、授業料 700,000 円

(本要項掲載時点)

大学等における修学支援に関する法律(令和2年4月1日施行)に関する授業料等減免制度については、文部科学省において実施される機関要件の確認の後、令和8年8月下旬以降に予定されている対象機関の公表を以て最終決定します。本学ホームページを確認してください。(※本学は、前年度において減免制度の対象機関です。)

給付型奨学金の申込みについては、在学する高等学校等を通じて行ってください。詳細は、高等学校等または日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

[高等教育の修学支援新制度に伴う令和9年度入学手続について]

日本学生支援機構『給付型奨学金』採用候補者の方は、入学手続に必要な費用(入学金、前期納入金)を所定の期日までに納入していただきます。(減免後の請求ではありません。)入学後、『給付型奨学金』の採用候補者にかかる手続き及び授業料等減免の申請を行い、授業料等減免額対象者に認定された後、入学金・前期分授業料減免額を還付いたします。

■還付時期: 9月下旬(予定)

※『給付型奨学金』採用候補者の方で、入学手続に必要な費用(入学金、前期納入金)を所定の期日までに納入が困難な場合は、お問い合わせ先にご相談ください。

※後期学費については、支援区分に応じた後期分授業料減免額を減額して請求しますので、所定の期日までに納入してください。

詳細は、授業料減免対象者に認定された際にお知らせします。

お問い合わせ先: 学生部 学生・厚生課 TEL 03-5451-8114

教育ローン

1. 国士舘大学提携教育ローン

本学には、入学予定者や在学生を対象とした、金融機関提携「国士舘大学提携教育ローン」制度があります。担保・保証人は不要、全支店でお取り扱いしています。

詳しくは下記の銀行にお問い合わせください。

手続き（審査等含む）には、日数を要する場合がありますので、お早めにご相談ください。

ご相談の際は、必ず「国士舘大学提携教育ローン」である旨をお申し出ください。

[問い合わせ先]

三井住友銀行 ネットローンプラザ（経堂支店担当） 0120-523-605

オリコ 「学費サポートプラン」 0120-517-325

ジャックス 「教育ローン」 0120-338-817

2. 国士舘大学ふれあい特別教育ローン（世田谷信用金庫）

本学には、入学予定者や在学生を対象とした、国士舘大学ふれあい特別教育ローンがあります。

詳しくは、世田谷信用金庫（ローンプラザ用賀 0120-71-2703）にお問い合わせください。

手続き（審査等含む）には、日数を要する場合がありますので、お早めにご相談ください。

ご相談の際は、必ず「国士舘大学ふれあい特別教育ローン」である旨をお申し出ください。

3. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

日本政策金融公庫が取り扱う、入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

詳しくは、「国の教育ローン」コールセンター（0570-008656 [ナビダイヤル] または 03-5321-8656）までお問い合わせください。

ホームページのご案内

○日本政策金融公庫 国民生活事業

ホームページアドレス

<http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

※ホームページからもお申込いただけます。

入学者選抜 Q&A

本学ホームページ上にチャットボットを設置しておりますので、Q&A とあわせてご参照ください。

Q 出願後に出願内容の変更はできますか。

A 入学検定料納入後は理由の如何にかかわらず変更できません。なお、転居等による住所等の変更については、郵便局へ転居届を提出した上、本学入試部（03-5481-3211）にも連絡してください。

Q 「受験票」が届かないのですが。

A 「受験票」は郵送いたしません。試験日3日前を目安にマイページからダウンロードすることができます。「受験票」は印刷して持参してください。詳細は p.14 をご確認ください。

Q 「受験票」を紛失、あるいは忘れてしまったのですがどうしたらよいですか。

A 試験当日に紛失、あるいは忘れてしまった場合は、受付にて係員に申し出てください。また、本人確認ができるものを持参してください。

Q 試験会場の下見は、どの程度できますか。

A 試験会場内に入ることはできませんので、所在地の確認だけにとどめてください。

Q 上履きは必要ですか。

A 各試験場とも上履きは必要ありません。

Q 面接の順番や終了時刻は事前に分かりますか？

A 順番は試験当日に発表されます。終了時刻は、順番や志願者数等により変わるためお伝えすることができません。時間がかかる可能性があるため、昼食を準備することをお勧めします。

Q 試験当日は、遅刻しても受験できるのでしょうか。

A 第1時限目の試験開始後20分以内であれば受験は可能ですが、試験当日は時間に余裕を持って行動するようにしてください。自家用車、バスでの来校は、交通渋滞が予想されますので、電車での移動をおすすめします。なお、試験当日の電車のダイヤが乱れる等、不測の事態が起きた場合は入試部（03-5481-3211）までお問い合わせください。

Q 父母及び付き添いの方の控室はありますか。

A 試験会場で控室の開放や食堂の営業等はありません。

Q 理工学部フレキシブル出願制度で合格した場合、どのように入学する学系を決めるのですか。

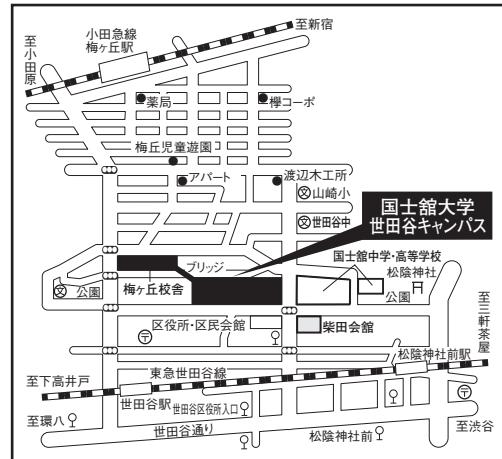
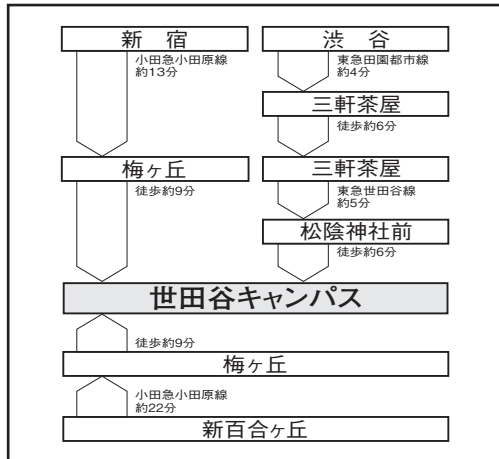
A 最後の入学者選抜が終了する3月後半までに希望学系調査を行って決定します。希望調査の方法等は、12月までの合格者には1月上旬頃に、1月以降の合格者には入学手続確認後に電子メールで連絡する予定です。希望者には各学系の教員による専門分野の説明や施設見学などを行います（選抜の状況によって上限学生数に達した学系にはフレキシブル出願者を受け入れられないことがあります）。

本学試験会場案内図

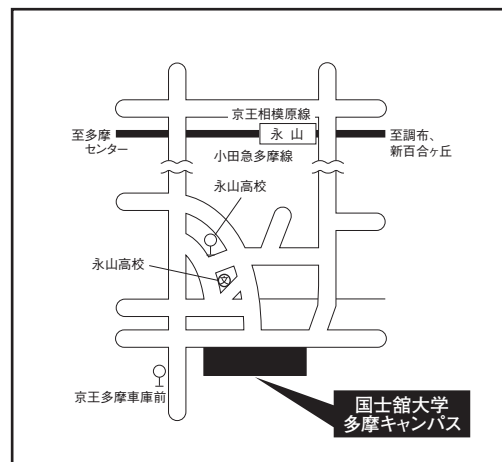
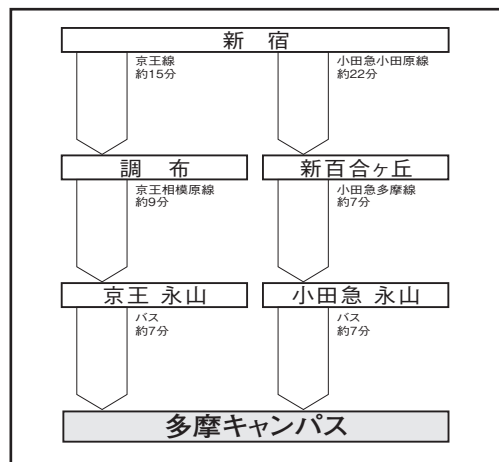
主要駅から各キャンパスまでの所要時間と道順

※所要時間には、待ち時間・乗り換え時間は含みません。

■世田谷キャンパス（政経学部、理工学部、法学部、文学部、21世紀アジア学部、経営学部の受験者）



■多摩キャンパス（体育学部受験者）試験当日永山駅～大学間の送迎バスを用意しています。



【送迎バス運行時間】

★永山駅発

8:30～10:00

★大学前発

11:30～

●問い合わせ先●

入 試 部

TEL.03(5481)3211

FAX.03(5481)3210

メールアドレス ●ad1@kokushikan.ac.jp

ホームページアドレス ●<https://www.kokushikan.ac.jp>

【電話受付時間】

月～土曜日(祝日を除く) : 10:00～16:00

※受付時間に変更が生じた場合は、ホームページでお知らせします。

世田谷キャンパス 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1
町 田キャンパス 〒195-8550 東京都町田市広袴1-1-1
多 摩キャンパス 〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1